

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院総務課 0857-37-1522</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院の医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 毎年度、医師奨学生を募集・決定し、奨学金を貸与する。 募集人員2名(定員各学年ごとに2名、計12名) 貸与額 200,000円/月(入学年度の4月のみ、282,000円加算)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">当年度</td> <td style="text-align: center;">次年度</td> <td style="text-align: center;">次年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">医師奨学生数</td> <td style="text-align: center;">初期臨床研修開始医師</td> <td style="text-align: center;">常勤開始医師</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">7名</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">5名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">4名</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">0名</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも地域医療を確保していくためには、医師確保を大学医局人事のみに頼ることなく、病院自ら医師を養成し、確保していく体制を継続していく必要がある。</p>		当年度	次年度	次年度		医師奨学生数	初期臨床研修開始医師	常勤開始医師	平成27年度	7名	2名	1名	平成28年度	5名	1名	1名	平成29年度	4名	2名	0名
		当年度	次年度	次年度																	
	医師奨学生数	初期臨床研修開始医師	常勤開始医師																		
平成27年度	7名	2名	1名																		
平成28年度	5名	1名	1名																		
平成29年度	4名	2名	0名																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	42%	33%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>全国的な医師不足の中、将来当院に勤務することとなる医学生を確保するための奨学金制度であるが、応募者が減少傾向にあり、当年度はゼロとなった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>本制度を通じ、当院の常勤医として勤務する医師の確保が図れているが、応募者が減少傾向にあり、当年度はゼロとなった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>全国的な医師不足であり、大学医局へ医師派遣要請を粘り強く継続しているが、不足する専門医の確保にはつながらない。そのような中、本制度により、将来当院に勤務することとなる医学生を確保し、常勤医師としての勤務にもつながってきている。近年応募者が減少しているため、今後より一層広報に努め、奨学生の確保を図る必要がある。</p>							

事務事業評価シート

事務事業コード	007700	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	単位老人クラブ活動助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	単位老人クラブ活動補助金			予算事業コード	01-03-01-05-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	単位老人クラブ
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の生きがいを高めるとともに健康づくりを促進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため。
手段 (どうするのか)	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	
	年度別実績	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	①市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	16,604	16,139	0	0	0	
	直接経費 A	15,160	14,675	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,434	10,183	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,726	4,492	0	0	0
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	老人クラブ会員の維持	人	目標	12935	12630	12630	12630	0
		実績		12908	12655	0	0	0	
	(指標の説明)								
2		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【事業の概要】 高齢者の生きがいや健康づくりを推進する老人クラブの活動に対し、老人クラブの会員数に応じて助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 老人クラブ活動の促進を通じて、高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[クラブ数]</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">15,652千円</td> <td style="text-align: center;">273クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">15,288千円</td> <td style="text-align: center;">269クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">15,160千円</td> <td style="text-align: center;">267クラブ</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 老人クラブは、会員の健康づくりや介護予防の取り組みに加え、子どもの通学時の見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動なども行っている。地域福祉の重要な担い手として更なる活動の展開が期待される場所であるが、クラブ数及び会員とも減少傾向が続いており、会員の増加に向けた取り組みが必要である。</p>		[決算額]	[クラブ数]	平成26年度	15,652千円	273クラブ	平成27年度	15,288千円	269クラブ	平成28年度	15,160千円	267クラブ
		[決算額]	[クラブ数]										
平成26年度	15,652千円	273クラブ											
平成27年度	15,288千円	269クラブ											
平成28年度	15,160千円	267クラブ											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	老人クラブ会員の維持	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図るため、事業を継続する。</p>							

事務事業評価シート

事務事業コード	007800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者介護予防支援バス運行事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	60歳以上の高齢者の団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など高齢者が参加する機会の拡大
手段 (どうするのか)	運行条件を満たす場合に、バスを運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①高齢者バスの運行	平成29年度 ①高齢者バスの運行	平成30年度 ①高齢者バスの運行	平成31年度 ①高齢者バスの運行	平成32年度 ①高齢者バスの運行	
	年度別実績	①高齢者バスの運行 運行件数:591件 利用者数:10,580人	①高齢者バスの運行 運行件数:576件 利用者数:10,126人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,977	10,694	0	0	0	
	直接経費 A	7,833	10,548	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	10,548	0	0	0
	一般財源	7,833	0	0	0	0	
人件費 B	144	146	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	バスの運行件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明)	件	目標	592	591	591	0	0
			実績	591	576	0	0	0	
	2		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
	3		目標	0	0	0	0	0	
(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0		

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 管理係 0857-20-3449
	【10次総の施策体系】 1302
	【事業の概要】 高齢者の団体に対して高齢者バスを運行し、高齢者の生きがいがづくりや地域交流の推進を図る。
	【事業の成果】
	【今後の課題・方向性】

	[利用件数]	[利用者数]
平成27年度	592件	10,858人
平成28年度	591件	10,580人
平成29年度	576件	10,126人

運行年数が20年を超えた車両が3台あり、今後事業に使用できるバスの台数の減少が見込まれるため、公共交通機関利用助成事業への転換などの検討が必要である。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	バスの運行件数	100%	97%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>高齢者が社会参加する機会を拡充するため継続するが、今後は公共交通機関利用促進事業への転換などの検討を要すると考える。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公共交通機関利用助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等
施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	
			0	0	
実施の 手段			0	0	運営方法
			0	0	外部委託
予算	予算事業名	公共交通機関利用助成事業費		会計区分	一般会計
				予算事業コード	01-03-01-05-13-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の高齢者の団体 ・各地区公民館を拠点に活動している団体
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など各種研修、生きがいを高めるためのレクリエーションへの参加など条件を満たす場合、また市民が、研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、市民が研修を受ける機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉バスが運行できない運行時間外、土日祝祭日、年末年始を補完するため、貸切バスの利用に対して助成を行う。 ・各地区公民館を拠点に活動している団体が、各種大会、研修会などへ参加するため貸切バスを利用した場合助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①公共交通機関利用助成	平成29年度 ①公共交通機関利用助成	平成30年度 ①公共交通機関利用助成	平成31年度 ①公共交通機関利用助成	平成32年度 ①公共交通機関利用助成	
	年度別実績	①公共交通機関利用助成 利用件数:122件	①公共交通機関利用助成 利用件数:112件				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,845	6,330	0	0	0	
	直接経費 A	6,701	6,184	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,701	6,184	0	0	0		
人件費 B	144	146	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			件	目標	118	123	0	0	0	
			実績	122	112	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P61（福006）</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体が、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、健康保持のための教養講座、研修などに参加する場合、または、市民が地域活動や研修会などへ参加する場合において、貸切バスなどを利用した場合、その経費の一部を助成する。</p> <p>(対象等) ・60歳以上の高齢者の団体、また各地区公民館を拠点に活動している団体 ・対象となる5万円までの基本運賃に対して、10/10助成する。 ・利用回数は、年度中に1団体1回 (助成上限) 50,000円</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">[決算額]</th> <th style="text-align: center;">[利用件数]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">6,395千円</td> <td style="text-align: right;">118件 (高齢者72件・一般46件)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">6,701千円</td> <td style="text-align: right;">122件 (高齢者84件・一般38件)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">6,184千円</td> <td style="text-align: right;">112件 (高齢者72件・一般40件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者の社会参加の促進は、健康づくりや介護予防にも効果があり、継続して取り組むことで高齢者福祉の増進を図る。</p>		[決算額]	[利用件数]	平成27年度	6,395千円	118件 (高齢者72件・一般46件)	平成28年度	6,701千円	122件 (高齢者84件・一般38件)	平成29年度	6,184千円	112件 (高齢者72件・一般40件)
		[決算額]	[利用件数]										
平成27年度	6,395千円	118件 (高齢者72件・一般46件)											
平成28年度	6,701千円	122件 (高齢者84件・一般38件)											
平成29年度	6,184千円	112件 (高齢者72件・一般40件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	助成件数	103%	91%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続して実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008000	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防教室事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	0	0	運営方法	外部委託	
	0	0	会計区分	特別会計	
	0	0	予算事業コード	15-09-01-02-01-03	
予算	予算事業名	おたっしや教室事業費			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	運動機能等の低下など要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	自発的・継続的な介護予防の取組みを促進
手段 (どうするのか)	介護予防に資する通所型運動教室を実施して、介護予防の知識・意識を啓発する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①おたっしや教室開催 目標参加者 710人 ・地区公民館型 540人 ・健康増進施設型 180人	①おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民館のみ)	①おたっしや教室開催 目標参加者 460人	①おたっしや教室開催 目標参加者 460人	①おたっしや教室開催 目標参加者 460人	
	年度別実績	①おたっしや教室開催 《実績》 開催:4施設、36教室 参加者:729人 ・地区公民館型 549人 ・健康増進施設型 180人	①おたっしや教室 《実績》 開催:58教室 参加者:457人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	32,512	29,308	0	0	0	
	直接経費 A	32,512	27,478	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,512	27,478	0	0	0		
人件費 B	0	1,830	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	参加人数	目標	人		710	720	460	460	460
		実績		729	457	0	0	0	
(指標の説明) おたっしや教室参加人数(実)									
2		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P307（介004）</p> <p>【事業の概要】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器機能の維持・向上のための運動の指導・習慣化を図る教室を、地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取り組みを促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・概ね毎週1回、全12回（3か月間）開催 ・教室1回あたり90分間、運動指導に加え、栄養・口腔に関する講話を実施 ・利用料：500円 ・必要に応じて送迎あり ・教室終了後も自発的に活動継続できるよう、地域の介護予防教室やサロン等の紹介 </p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[公民館型数]</td> <td style="text-align: center;">[健康増進施設型]</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 31,090千円</td> <td>554名（計56教室）</td> <td>193名（4施設 計30教室）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 32,512千円</td> <td>549名（計58教室）</td> <td>180名（4施設 計36教室）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 27,478千円</td> <td>452名（計58教室）</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動機能の維持・向上のための運動を指導し、その習慣化を図る教室を地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取り組みを促進する。</p> <p>※その他財源の手数料は、介護予防運動教室事業手数料。 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金。</p>	[決算額]	[公民館型数]	[健康増進施設型]	平成27年度 31,090千円	554名（計56教室）	193名（4施設 計30教室）	平成28年度 32,512千円	549名（計58教室）	180名（4施設 計36教室）	平成29年度 27,478千円	452名（計58教室）	—
	[決算額]	[公民館型数]	[健康増進施設型]										
平成27年度 31,090千円	554名（計56教室）	193名（4施設 計30教室）											
平成28年度 32,512千円	549名（計58教室）	180名（4施設 計36教室）											
平成29年度 27,478千円	452名（計58教室）	—											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	参加人数	103%	63%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>参加者減の要因として、国が定めた対象者把握方法の変更の影響や、地域の運動教室への参加移行が進んだこと、中心的な開催会場の1つが使用不可に伴う代替会場の利便性が悪かったことなどが挙げられる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者の自発的・継続的な介護予防の取り組みを促進するため、継続的に実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008100	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	認知症地域支援・ケア向上事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする。
手段 (どうするか)	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族の相談支援の実施と医療・介護等の関係機関と連携して、地域における認知症の人の支援体制の構築と認知症ケアの向上に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①認知症地域支援推進員配置数 1名 ②認知症カフェ設置数 7箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 8箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 10箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 15箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 18箇所	
	年度別実績	①認知症地域支援推進員配置数 1名 ②認知症カフェ設置数 7箇所	①認知症地域支援推進員配置数 2名 ②認知症カフェ設置数 8箇所				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,842	10,981	0	0	0	
	直接経費 A	5,398	9,517	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,158	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,187	0	0	0	0
	一般財源	1,053	9,517	0	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	認知症地域支援推進員配置数	人	目標	1	2	2	2	2
		実績		1	2	0	0	0	
	(指標の説明) 平成29年度に2名配置とし、当面は2名体制を継続する。								
2	認知症カフェ設置数	箇所	目標	7	8	10	15	18	
	実績		7	8	0	0	0		
(指標の説明) 日常生活圏域に1か所の認知症カフェの設置を目指す。									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P310 (介009)</p> <p>【事業の概要】 国が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿って「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることのできる社会」の実現を目指し、認知症施策の充実に取り組んでおり、平成27年7月より認知症地域支援推進員を法人委託により配置し、官民協働で認知症施策を推進している。</p> <p>【事業の成果】 認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族の専門的な相談支援を実施することで、支援対象者の認知症ケアの向上と医療・介護等の関係機関との連携強化につながった。さらに認知症カフェが新たに1箇所開設され、認知症の人やその家族等の身近な集いの場、あるいは相談や情報収集が可能な場の充実が図られた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[推進員配置数]</td> <td style="text-align: center;">[認知症カフェ箇所数]</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">3,761千円</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">5箇所</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">5,398千円</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">7箇所</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">9,517千円</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">8箇所</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 認知症地域支援推進員の取組みは定着しつつある。その一方で、若年性認知症の方については、仕事や子育ての問題など、高齢者とは異なる課題を抱えておられ、支援のあり方について検討を進める。</p> <p>※その他財源のその他は、介護保険料。</p>		[決算額]	[推進員配置数]	[認知症カフェ箇所数]	平成27年度	3,761千円	1名	5箇所	平成28年度	5,398千円	1名	7箇所	平成29年度	9,517千円	2名	8箇所
		[決算額]	[推進員配置数]	[認知症カフェ箇所数]													
平成27年度	3,761千円	1名	5箇所														
平成28年度	5,398千円	1名	7箇所														
平成29年度	9,517千円	2名	8箇所														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	認知症地域支援推進員配置数	100%	100%			
	2	認知症カフェ設置数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>認知症地域支援推進員を1名増員して2名体制とし、認知症の人の相談支援を行った。また、認知症地域支援推進員を中心に認知症カフェが1箇所増の8箇所となった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>認知症地域支援推進員の配置と認知症カフェの設置数については目標数に達し、認知症地域支援推進員や認知症が相談窓口の一つとして市民に定着してきたため、初期段階での相談が増えてきている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域の関係機関とのネットワークが構築されてきており、効果的な事業である。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008200	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症初期集中支援推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	介護保険法	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	認知症初期集中支援推進事業費		予算事業コード	15-09-02-01-05-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	早期診断・早期対応により医療・介護サービス等による適切な支援に移行する
手段 (どうするのか)	医療・介護の専門職で取組む認知症初期集中支援チームを設置し、初期集中支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	平成29年度 ①認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	平成30年度 ①認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	平成31年度 ①認知症初期集中支援 チームの設置 3チーム	平成32年度 ①認知症初期集中支援 チームの設置 4チーム	
	年度別実績	①認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	①認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,993	3,399	0	0	0	
	直接経費 A	549	1,311	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	321	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	121	0	0	0	0
一般財源	107	1,311	0	0	0		
人件費 B	1,444	2,088	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	チームの設置数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			箇所数	目標	1	1	2	3	4	
			実績	1	2	0	0	0		
	(指標の説明) チームを地域包括支援センターに1箇所設置する。									
	2	初期集中支援ケース数	件数	目標	5	50	40	60	80	
				実績	5	13	0	0	0	
(指標の説明) 1チームあたり20件の初期集中支援検討とする。										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】 1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P(介)</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる医療職・介護職で構成する「認知症初期集中支援チーム」の設置し、地域のかかりつけ医や介護事業者等と連携して、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p> <p>【事業の成果】 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族の初期の支援を包括的・集中的に行うことで、認知症の人の早期診断・早期対応、あるいは支援体制の構築などに取り組んだ。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[チーム数]</td> <td style="text-align: center;">[初期集中支援ケース数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">549千円</td> <td style="text-align: center;">1チーム</td> <td style="text-align: center;">5件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">1,311千円</td> <td style="text-align: center;">2チーム</td> <td style="text-align: center;">13件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 認知症初期集中支援チームの取り組みは、どのような支援ケースが有効なのか、医療や介護の専門職、あるいは地域の福祉関係者等にまだ十分に浸透していないと思われるため、一層の周知が必要と考える。また、チーム数を増加させ、活動範囲を狭くすることで、より身近な存在となる仕組みとするため、人員体制の強化についても検討していく。</p> <p>※その他財源のその他は介護保険料。</p>		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]	平成28年度	549千円	1チーム	5件	平成29年度	1,311千円	2チーム	13件
		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]									
平成28年度	549千円	1チーム	5件										
平成29年度	1,311千円	2チーム	13件										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	チームの設置数	100%	200%			
	2	初期集中支援ケース数	100%	26%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>認知症初期集中支援チームを2チーム設置することができたが、チームを活用した早期支援のメリットについて特に地域包括支援センターの職員に十分周知できなかったため支援件数が目標値を下回った。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>初期集中支援の件数が目標値を下回った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>認知症の早期発見・早期対応の有効性について、より一層の普及啓発に努めなければならないものとする。初期集中支援の効果的な推進のために、チームのエリアやチーム数の拡充について検討をしていきたい。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008300	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画 の まちづくり	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	介護保険法	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-03-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療や介護が必要となった住民
意図 (どのような状態 にするために)	住み慣れた地域で可能な限り最後まで暮らし続けることができるように
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会を拠点に、関係する医療・介護の多職種で、課題解決策の検討、情報共有、知識研修の場を設け更なる連携を強化し、東部地域全体で住民の在宅療養(生活)を支える仕組みを構築していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 厚生労働省が示している8項目の事業を早期に開始できるよう取り組み	平成29年度 厚生労働省が示している8項目の事業をすべて取り組みを開始する	平成30年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	平成31年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	平成32年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、成熟させる	
	年度別実績	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを開始した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	27,018	26,287	0	0	0	
	直接経費 A	12,580	11,649	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,783	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,869	0	0	0	0
	一般財源	1,928	11,649	0	0	0	
人件費 B	14,438	14,638	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	項目	目標 実績	7 8	8 8	8 0	8 0	8 0	
	(指標の説明)									
	2		目標 実績		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
		(指標の説明)								
	3		目標 実績		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療介護連携係 0857-54-1970</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、県東部圏域の1市4町と県東部医師会が連携して、国が定める在宅医療・介護連携を推進するための8つの施策を実施する。 (参考)国が定める市町村が実施すべき8つの施策 ①医療・介護資源の把握、②課題抽出・対策検討、③関係者の研修 ④在宅医療・介護の提供体制の構築推進、⑤情報共有の支援、⑥相談支援 ⑦住民への普及啓発、⑧関係市町村の連携</p> <p>【事業の成果】 在宅医療・介護連携を推進するため、次の取組みを行った。 1 東部地区在宅医療介護連携推進協議会やワーキンググループ、他団体との各種検討会議により、課題解決に向けた活動を実施した。 [施策②④⑤⑧] 2 「医療・介護資源マップ」をWEB化し、随時情報更新した。 [施策①④] 3 住民啓発用の寸劇DVD、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)パンフレットを作成した。 [施策③⑦] 4 事例検討等を行う多職種研修会や講演会(10回)、寸劇等を活用した住民啓発学習会(7回)、多職種関係者向けのACP研修会(8回)を開催した。 [施策③⑦] 5 県と共催で、各種啓発や研修を推進するファシリテーターを養成(23人)した。 [施策③⑧] 6 医療や介護の関係者からの相談支援を継続実施した。 [施策⑥]</p> <p>【今後の課題・方向性】 関係者の連携強化による更なる連携の仕組みづくり、ACPの必要性を住民に理解していただく啓発が重要である。引き続き、行政(1市4町)と医師会が連携し、取り組みを継続していく。 ※その他財源のその他は、介護保険料等</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	114%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>介護の受け皿として在宅療養の環境づくりは極めて重要な取組みであり、在宅医療・介護連携は不可欠な事業と考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008400	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	生活支援体制整備事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	特別会計	
予算	予算事業名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-04-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	既存の通所介護や訪問介護だけでなく多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を確保する。
手段 (どうするのか)	関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して定期的に情報共・連携強化に取り組むとともに、「生活支援コーディネーター」を配置して地域の生活支援サービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 4名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 7名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 8名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 10名	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 ②生活支援コーディネーターの配置 10名	
年度別実績	①検討会開催 3回 ②生活支援コーディネーター4名配置	①鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 ②生活支援コーディネーターの配置 7名					
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	23,635	28,175	0	0	0	
	直接経費 A	20,025	24,515	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,714	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,406	0	0	0	0
一般財源	3,905	24,515	0	0	0		
人件費 B	3,610	3,660	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	生活支援コーディネーター配置数	人	目標	4
	(指標の説明)		実績	4	7	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 管理係 0857-20-3449											
	【10次総の施策体系】 1302											
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P309 (介008)											
	【事業の概要】 通所介護や訪問介護などの介護保険のサービスだけでなく、多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を構築するため、関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して検討を行うとともに、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のサービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。											
	【事業の成果】 生活支援サービス関係団体で構成する「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会（第1層協議体：全市対象）」において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議するとともに、「生活支援コーディネーター（第1層：全市域、第2層：日常生活圏域）」による地域での聞き取り等を行い、地域課題の把握やその解決に向けた検討を行った。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[生活支援C]</td> <td style="text-align: center;">[検討会会議]</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 1,363千円</td> <td>1名 (第1層のみ)</td> <td>5回 (準備会含む)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 20,025千円</td> <td>4名 (第1層：1名 第2層：3名)</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 24,514千円</td> <td>7名 (第1層：1名 第2層：6名)</td> <td>1回</td> </tr> </table>	[決算額]	[生活支援C]	[検討会会議]	平成27年度 1,363千円	1名 (第1層のみ)	5回 (準備会含む)	平成28年度 20,025千円	4名 (第1層：1名 第2層：3名)	4回	平成29年度 24,514千円	7名 (第1層：1名 第2層：6名)
[決算額]	[生活支援C]	[検討会会議]										
平成27年度 1,363千円	1名 (第1層のみ)	5回 (準備会含む)										
平成28年度 20,025千円	4名 (第1層：1名 第2層：3名)	4回										
平成29年度 24,514千円	7名 (第1層：1名 第2層：6名)	1回										
【今後の課題・方向性】 今後も生活支援コーディネーターを複数名配置し、地域資源の調査や地域ニーズの把握等を行うとともに、「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」において、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの必要性やあり方等について検討を行う。また、第2層協議体の設置に向けた取り組みを進める。 ※その他財源のその他は、介護保険料。												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	生活支援コーディネーター配置数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 地域資源の把握や地域課題の解決に向けて、地域の福祉関係者と連携する大変効果的な事業である。		

事務事業評価シート

事務事業コード	008500	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	アクティブシニア世代等移住推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度～平成31年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	その他
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	サービス付き高齢者向け住宅の整備を促進する。
意図 (どのような状態 にするために)	県外高齢者の移住を促進し、転入超過を目指す。
手段 (どうするのか)	県外移住者を促進するための方策を検討する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①サービス付き高齢者向け住宅の整備促進事業の検討	平成29年度 ①サービス付き高齢者向け住宅の整備促進事業の検討	平成30年度 ≪H29年度で完了≫	平成31年度 ≪H29年度で完了≫	平成32年度 ≪H29年度で完了≫	
	年度別実績	平成28年度 ①サービス付き高齢者向け住宅の整備促進事業の検討 ≪現状調査を実施≫ ・住宅数(H28年度末時点) 15施設、302戸	平成29年度 ①サービス付き高齢者向け住宅の整備促進事業の検討 ≪現状調査を実施≫ ・住宅数(H29年度末時点) 20施設、422戸	平成30年度 ≪H29年度で完了≫	平成31年度 ≪H29年度で完了≫	平成32年度 ≪H29年度で完了≫	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	361	366	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	361	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		県外からの入居者数	人	目標	20	40	60	80	0	
				実績	16	25	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】管理企画係 0857-20-3451														
	【10次総の施策体系】1302														
	【予算計上の経過】 なし														
	【事業の概要】 アクティブシニア世代の移住定住を促進するため、サービス付き高齢者向け住宅の整備を推進する。														
	【事業の成果】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[施設数]</td> <td style="text-align: center;">[戸数]</td> <td style="text-align: center;">[入居者数]</td> <td style="text-align: center;">[うち県外からの入居者数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">15施設</td> <td style="text-align: center;">302戸</td> <td style="text-align: center;">250人</td> <td style="text-align: center;">16人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">20施設</td> <td style="text-align: center;">422戸</td> <td style="text-align: center;">351人</td> <td style="text-align: center;">25人</td> </tr> </table>		[施設数]	[戸数]	[入居者数]	[うち県外からの入居者数]	平成28年度	15施設	302戸	250人	16人	平成29年度	20施設	422戸	351人
	[施設数]	[戸数]	[入居者数]	[うち県外からの入居者数]											
平成28年度	15施設	302戸	250人	16人											
平成29年度	20施設	422戸	351人	25人											
【今後の課題・方向性】 平成27年度以降事業検討を行ってきた結果、サービス付き高齢者向け住宅の開設は民間主導で自然と増加が続いており、市が特別に関与する必要はないと判断したため、本事業は本年度で終了する。															

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	県外からの入居者数	80%	63%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市内のサービス付き高齢者向け住宅の入居者のうち入居前の住所地在県外であった者の人数を、平成29年度は40人を目標としていたが、実績は25人であったため。(達成率62.5%)

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	サービス付き高齢者向け住宅の開設は民間主導で自然と増加が続いており、行政が特別に関与する必要はないものと判断する。	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 庶務係 0857-20-3481
	【10次総の施策体系】 1302
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P296 (国013)
	【事業の概要】 無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進のため、民間では採算性の低い地域において公的診療所を維持し、地域医療サービスを提供する。 診療科：内科、小児科、外科 (開設：平成2年4月2日) 職員：医師1名、看護師2名、非常勤事務職員1名 (嘱託)
	【事業の成果】 鳥取市立病院との医薬品共同購入等による経費の節減及び人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施により収益向上に努めた。また、介護サービス空白地の解消のため平成25年度に開始した訪問リハビリ事業も在宅サービスの向上につながっている。
	平成27年度 平成28年度 平成29年度
	年間診療日数 212日 213日 216日
	年間件数 6,235件 5,960件 5,990件
	1日平均 29.4件 28.0件 27.7件
	訪問リハビリ 313件 210件 190件
年間収入 96,010,896円 111,962,653円 97,426,816円	
年間支出 91,218,517円 106,331,428円 84,295,422円	
収支差引 4,792,379円 5,631,225円 13,131,394円	
【今後の課題・方向性】 地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、計画的に医師が勤めやすい診療環境の整備を進めながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。 ※その他財源の使用料は、医師住宅使用料。 ※その他財源の諸収入は、健診委託料等。 ※その他財源のその他は、診療収入等。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	常駐医師数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>民間では採算性の低い地域において、地域住民の健康維持を図るため、常駐医師の確保及び公的診療所の維持を継続していく必要がある。</small>	